

理科 第3学年 評価規準

教科	学年	教科書	教科書ページ	配当時数	配当月	
理科	3	大日本	6 ~ 13	4	4 ~ 4	

大単元(題材名)	1. しぜんのかんさつ				
中単元(曲名)					
主領域/領域/内容の区分	B 生命・地球				
関連する道徳の内容項目	D 生命の尊さ/自然愛護				

【到達目標】

知・技	<input type="radio"/> 生物の姿は、色、形、大きさなど、違うところと似ているところがあることがわかる。 <input type="radio"/> 虫眼鏡の使い方や記録カードのかき方がわかる。 <input type="radio"/> 野外での観察方法を知り、安全に心がけて活動することができる。
思・判・表	<input type="radio"/> 校庭の植物や動物を観察して、気づいたことをわかりやすく発表できる。
主体的に学習に取り組む態度	<input type="radio"/> 校庭の植物や動物のようすに関心をもち、粘り強く観察しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	<input type="radio"/> 生物には、いろいろな色や形、大きさがあることを理解している。	B(1)ア(ア)
	<input type="radio"/> 生物には、その姿に差異点と共通点があることを理解している。	B(1)ア(ア)
	<input type="radio"/> 屋外で植物や動物を安全に観察している。	B(1)ア(ア)
	<input type="radio"/> 虫眼鏡を正しく安全に使っている。	B(1)ア(ア)
	<input type="radio"/> 色、形、大きさなどに着目して観察した結果を、記録カードなどに的確に記録している。	B(1)ア(ア)
思・判・表	<input type="radio"/> 校庭の植物や動物のようすを観察して、気づいたことを発表している。	B(1)イ
	<input type="radio"/> 身の回りのいろいろな生物の色、形、大きさなどについて、差異点や共通点を言葉でわかりやすくまとめている。	B(1)イ
主体的に学習に取り組む態度	<input type="radio"/> 校庭の生物のようすに関心をもち、積極的に観察しようとしている。	
	<input type="radio"/> 生物に関心をもち、大切にしようとしている。	

【関連する既習内容】

学年	内容

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
生き物のすがた	1	<input type="radio"/> 校庭で生き物を探したり、教科書の絵を見たりして、生き物の姿について気付いたことを話し合う。 ★ 問題を見つけよう	共通性・多様性/比較、関係付け
	2	<input type="radio"/> 虫眼鏡の使い方を知る。 <input type="radio"/> 観察カードの書き方を知る。 <input type="radio"/> 生き物の色、形、大きさを他の生き物と比べながら調べる。 ◆ かんさつ	共通性・多様性/比較、関係付け
	1	◎「たしかめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	共通性・多様性/比較、関係付け

理科 第3学年 評価規準

	教科	学年	教科書	上F 教科書ページ	配当時数	配当月
	理科	3	大日本	14 ~ 21	5	4 ~ 5

大単元(題材名)	2.植物を育ち方①		
中単元(曲名)	たねまき 葉・くき・根		
主領域/領域/内容の区分	B 生命・地球		
関連する道徳の内容項目	D生命の尊さ/自然愛護		

【到達目標】

知・技	<input type="checkbox"/> 様々な植物の種子や子葉のようすを観察し、植物によって違いがあることがわかる。 <input type="checkbox"/> 育てている植物を観察して、その成長のようすをわかりやすく記録することができる。 <input type="checkbox"/> 植物の子葉の特徴をとらえ、図と言葉でわかりやすく記録することができる。
思・判・表	<input type="checkbox"/> 様々な植物の種子を観察して、気づいたことをわかりやすく発表できる。 <input type="checkbox"/> 育てている植物を観察して、前に観察したときと比べて違うところを見だし、説明することができる。
主体的に学習に取り組む態度	<input type="checkbox"/> 育てている植物の成長に関心をもち、粘り強く世話をしようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	<input type="checkbox"/> 適切なたねのまき方を理解している。	B(1)ア(ウ)
	<input type="checkbox"/> 植物の種子や子葉には、色や形、大きさに違いがあることを理解している。	B(1)ア(ウ)
	<input type="checkbox"/> 育てている植物への水やりなど、適切に植物の世話をしている。	B(1)ア(ウ)
	<input type="checkbox"/> 植物の子葉や葉の色、形、大きさ、数などに着目して観察した結果を、記録カードなどに的確に記録している。	B(1)ア(ウ)
思・判・表	<input type="checkbox"/> 様々な植物の種子のようすを観察して、気づいたことを発表している。	B(1)イ
	<input type="checkbox"/> 育てている植物の成長のようすについて調べ、前に観察したときと比べて違うところを見だし、図や言葉でわかりやすくまとめている。	B(1)イ
主体的に学習に取り組む態度	<input type="checkbox"/> 育てている植物の成長のようすに関心をもち、積極的に観察しようとしている。	
	<input type="checkbox"/> 植物に関心をもち、大切にしようとしている。	

【関連する既習内容】

学年	年	内容
3		身の回りの生物(身の回りの生物と環境との関わり)

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
1.たねまき	2	様々な植物の花とたねを見比べて、気づいたことを話し合う。 育てる植物を2つ決めて、種を観察する。種をまく。	共通性・多様性/比較、関係付け
	1	2つの植物の子葉を比べて、気付いたことを話し合い、問題を見つける。	
	1	植物の育ち方を比べながら調べる。	
2 葉・くき・根	2	<input type="checkbox"/> 植物の体を見て気付いたことを話し合う。 ◆ 問題を見つけよう <input type="checkbox"/> 育ててきた植物の体のつくりを比べながら調べる。 ◆ かんさつ2	共通性・多様性/比較、関係付け

理科 第3学年 評価規準

理科 第3学年 評価規準

	教科	学年	教科書	<small>上</small> 教科書ページ	配当時数	配当月
	理科	3	大日本	22 ~ 35	10	5 ~ 6

大単元(題材名)	3. こん虫の育ち方		
中単元(曲名)	チョウの育ち方 こん虫の体のつくり		
主領域/領域/内容の区分	B 生命・地球		
関連する道徳の内容項目	C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度/国際理解, 国際親善	D 生命の尊さ/自然愛護	

【到達目標】

知・技	<input type="checkbox"/> チョウの体のつくりの特徴がわかり, 図と言葉でわかりやすく記録することができる。 <input type="checkbox"/> チョウの育ち方を観察し, 成長の変化をわかりやすく記録することができる。 <input type="checkbox"/> チョウの育ち方がわかる。
思・判・表	<input type="checkbox"/> チョウの体のつくりを観察して, 気づいたことをわかりやすく発表できる。 <input type="checkbox"/> チョウの育ち方を観察して, 前に観察したときと比べて違っていることを見だし, 説明することができる。
主体的に学習に取り組む態度	<input type="checkbox"/> 育てているチョウの育ち方に関心を持ち, 粘り強く世話をしようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

	対応する学習指導要領の項目
知・技	<input type="checkbox"/> チョウの体のつくりについて理解している。 B(1)ア(イ)
	<input type="checkbox"/> チョウの体のつくりについて観察した結果を, 記録カードなどに的確に記入している。 B(1)ア(イ)
	<input type="checkbox"/> チョウの成長の仕方を理解している。 B(1)ア(イ)
	<input type="checkbox"/> チョウの成長のようすを正確に記録している。 B(1)ア(イ)
思・判・表	<input type="checkbox"/> 育てているチョウの成長のようすについて調べ, 前に観察したときと比べて違っていることを見だし, 図や言葉でわかりやすくまとめている。 B(1)イ
主体的に学習に取り組む態度	<input type="checkbox"/> チョウの育ち方について関心を持ち, 積極的に飼育, 観察をしようとしている。
	<input type="checkbox"/> チョウに関心をもって, 大切にしようとしている。

【関連する既習内容】

学年	年	内容
3	年	身の回りの生物(身の回りの生物と環境との関わり)
	年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
1 チョウの育ち方	1	○チョウのたまごや青虫、成虫の姿を比べて、気付いたことを話し合う。 ★ 問題を見つけよう	共通性・多様性/比較、関係付け
	4	○チョウの育ち方を、姿を比べながら調べる。 ◆ かんさつ1	共通性・多様性/比較、関係付け
2 こん虫の体のつくり	1	○チョウの体と他の虫の体を比べて、気付いたことを話し合う。 ★ 問題を見つけよう	共通性・多様性/比較、関係付け
	1	○いろいろな虫の体のつくりを、チョウの体のつくりと比べながら調べる。 ◆ かんさつ2	共通性・多様性/比較、関係付け
3 こん虫の育ち方	2	○チョウの育ち方と他の昆虫の育ち方を比べて、気付いたことを話し合う。 ★ 問題を見つけよう ○トンボやバッタの育ち方を、チョウの育ち方と比べながら調べる。 ◆ かんさつ3	共通性・多様性/比較、関係付け
	1	◎「たしかめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	共通性・多様性/比較、関係付け

教科	学年	教科書	上F 教科書ページ	配当時数	配当月
理科	3	大日本	36 ~ 41	1	6 ~ 6

大単元(題材名)	◎植物を育ち方②		
中単元(曲名)	葉がふえたころ		
主領域/領域/内容の区分	B 生命・地球		
関連する道徳の内容項目	D生命の尊さ/自然愛護		

【到達目標】

知・技	<ul style="list-style-type: none"> ○ 育てている植物を観察して、その成長のようすをわかりやすく記録することができる。 ○ 植物の成長のようすを観察し、植物によって葉の形や大きさなどに違いがあることがわかる。 ○ 植物の栽培を通して、植物の体のつくりは葉、茎、根からできていることがわかる。
思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ○ 植物の体のつくりの差異点と共通点に気づき、それを適切に表現できる。 ○ 育てている植物を観察して、前に観察したときと比べて違っていることを見だし、説明することができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 育てている植物の成長に関心をもち、粘り強く世話をしようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

【評価規準】		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 植物は、葉の形、草丈などに違いがあることを理解している。	B(1)ア(ウ)
	○ 植物の体は葉・茎・根からできていて、根は地中にあり、葉は茎についていることを理解している。	B(1)ア(ウ)
	○ 育てている植物への水やりなど、適切に植物の世話をしている。	B(1)ア(ウ)
	○ 植物の成長のようすをわかりやすく記録している。	B(1)ア(ウ)
	○ 色、形、大きさ、数などに着目して観察した結果を、記録カードなどに的確に記入している。	B(1)ア(ウ)
思・判・表	○ 植物の体のつくりの差異点と共通点に気づき、それを適切に表現している。	B(1)イ
	○ 育てている植物の成長のようすについて調べ、前に観察したときと比べて違っていることを見だし、図や言葉でわかりやすくまとめている。	B(1)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 育てている植物の成長のようすに関心をもち、積極的に観察しようとしている。	
	○ 植物に関心をもち、大切にしようとしている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
3年	身の回りの生物(身の回りの生物と環境との関わり、植物の成長と体のつくり)

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
葉が増えたころ	1	○2つの植物の育ち方を比べながら調べる。 ◆ かんさつ	共通性・多様性/比較、関係付け

理科 第3学年 評価規準

	教科	学年	教科書	<small>上</small> 教科書ページ	配当時数	配当月
理科		3	大日本	42 ~ 53	8	6 ~ 6

大単元(題材名)	4. 風とゴムの力のはたらき		
中単元(曲名)			
主領域/領域/内容の区分	A 物質・エネルギー		
関連する道徳の内容項目	C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度		

【到達目標】

知・技	<ul style="list-style-type: none"> ○ 風とゴムの力は、物を動かすことができることがわかる。 ○ 風とゴムの力のはたらきの大きさと物の動く距離との関係についてわかる。 ○ 風とゴムの力のはたらきの大きさを変えたときの物の動く距離の違いを、正確に記録することができる。
思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ○ 風とゴムの力のはたらきの大きさを大きくしたときの物が動くようすについて、生活のなかで経験したことなどから予想を立てることができる。 ○ 風とゴムの力のはたらきの大きさと物が動くようすを関係づけてとらえ、その関係を表を使ってわかりやすくまとめることができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 風とゴムの力のはたらきについて粘り強く追究する活動を通して、物の動き方の変化には風とゴムの力のはたらきの大きさが関係していることを知り、まとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

	対応する学習指導要領の項目	
知・技	○ 風とゴムの力は、物を動かすことができることを理解している。	A(2)ア(ア)(イ)
	○ 物の動く距離を調べて、その結果を適切に記録している。	A(2)ア(ア)(イ)
	○ 風とゴムの力のはたらきで動く車を正しく扱い、安全に実験を行っている。	A(2)ア(ア)(イ)
	○ 風の力を強くしたり、ゴムを長く伸ばしたりすると、物を動かす力が大きくなることを理解している。	A(2)ア(ア)(イ)
思・判・表	○ 風とゴムの力のはたらきの大きさと物が動くようすとの関係について、問題を見つけている。	A(2)イ
	○ 立てた予想を発表したり、文章にまとめたりしている。	A(2)イ
	○ 友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。	A(2)イ
	○ ゴムの伸ばし方と物が動くようすを関係づけて考え、それを言葉でわかりやすく表現している。	A(2)イ
	○ 風とゴムの力のはたらきの大きさを変える実験結果から、風とゴムの力のはたらきの大きさを変えると物が動くようすも変わることを導き出している。	A(2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 風とゴムの力のはたらきの大きさと物が動くようすとの関係について問題を見つけ、自分なりの予想を立てて実験している。	
	○ 風とゴムの力のはたらきの学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。	

【関連する既習内容】

学年	内容

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
ゴムのはたらき	1	○ ゴムで動く車を作って遊んでみて、気付いたことを話し合う。 ★ 問題を見つけよう	量的・関係的/比較・関係付け
	2	○ 実験の仕方を知る。 ○ ゴムの伸ばし方を変えたときの車の進む距離を比べながら調べる。 ◆ じっけん1	量的・関係的/比較・関係付け
	1	○ 深めよう「ねらったいちに車を止めてみよう！」を行う。	量的・関係的/比較・関係付け
風のはたらき	1	○ 風で動く車を作り、うちわであおいで遊んでみて、気付いたことを話し合う。 ★ 問題を見つけよう ○ 車に当てる風の強さを変えたときの車の進む距離を比べながら調べる。 ◆ じっけん2	量的・関係的/比較・関係付け
	2	○ 作ってみよう「ゴムと風の力で動くおもちゃを作ってみよう！」を行う。	量的・関係的/比較・関係付け

理科 第3学年 評価規準

	1 ◎「たしかめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	量的・関係の/比較・関係付け

理科 第3学年 評価規準

	教科	学年	教科書	<small>上F 教科書ページ</small>	配当時数	配当月
理科		3	大日本	140 ~ 149	6	7 ~ 7

大単元(題材名)	5. 音のふしぎ		
中単元(曲名)			
主領域/領域/内容の区分	A 物質・エネルギー		
関連する道徳の内容項目	C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	D 自然愛護	

【到達目標】

知・技	<ul style="list-style-type: none"> ○ 音が出ているときは物が震えていることがわかる。 ○ 音の大きさが変化すると物の震え方が変わることがわかる。 ○ 音の大きさと物の震え方との関係を調べる実験を, 安全に行うことができる。 ○ 音の大きさを変えたときの物の震え方のようすの違いを, 正確に記録することができる。
思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ○ 音の大きさを変化させたときの物の震えるようすについて, 生活のなかで経験したことなどから予想を立てることができる。 ○ 音の大きさと物の震え方のようすを関係づけてとらえ, その関係を表を使ってわかりやすくまとめることができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 音の性質について粘り強く追究する活動を通して, 物の震え方の変化には音の大きさが関係していることを知り, まとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

	対応する学習指導要領の項目	
知・技	○ 物が震えることで音が伝わることを理解している。	A(3)ア(ウ)
	○ 音が大きいときは物の震え方が大きく, 音が小さいときは物の震え方が小さいことを理解している。	A(3)ア(ウ)
	○ 物の震え方の変化を調べて正確に記録している。	A(3)ア(ウ)
	○ 楽器や身の回りの物を正しく扱い, 音を出す実験を安全に行っている。	A(3)ア(ウ)
思・判・表	○ 楽器や身の回りの物で音を出して, 問題を見つけている。	A(3)イ
	○ 音の大きさと物が震えるようすとの関係について, 音楽の授業で太鼓を使ったときの経験などから予想を立てている。	A(3)イ
	○ 音の大きさと物が震えるようすとの関係を表に整理して, わかりやすく説明している。	A(3)イ
	○ 友だちの意見を聞いて, 自分の予想の妥当性について考えている。	A(3)イ
	○ 音の大きさを変える実験結果から, 音の大きさを変えると物の震え方も変わることを導き出している。	A(3)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 音の大きさと物が震えるようすとの関係を調べる実験計画について, 友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。	
	○ 音の大きさと物が震えるようすとの関係について問題を見つけ, 自分なりの予想を立てて実験している。	
	○ 音の性質の学習で, わかったこととまだわからないこと, できるようになったこととまだできないことが何かを, 自分で考えている。	

【関連する既習内容】

学年	内容

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
音の出方	1	○ 楽器などを使って音を出し, 気付いたことを話し合う。 ★ 問題を見つけよう	量的・関係的/比較・関係付け
	2	○ 音の大きさを変えたときの物の震え方の違いを比べながら調べる。 ◆ じっけん1	量的・関係的/比較・関係付け
音の伝わり方	1	○ 糸電話を作って, 友達と話をしたときのことについて, 気付いたことを話し合う。 ★ 問題を見つけよう ○ 音が伝わるときの物の震え方を比べながら調べる。 ◆ じっけん2	量的・関係的/比較・関係付け
	1	○ 作ってみよう「音のおもちゃを作ってみよう!」を行う。	量的・関係的/比較・関係付け

理科 第3学年 評価規準

1	◎「たしかめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	量的・関係の/比較・関係付け

第3学年 評価規準

	教科	学年	教科書	上F 教科書ページ	配当時数	配当月
	理科	3	大日本	54 ~ 57	2	7 ~ 7

大単元(題材名)	◎植物の育ち方(3)		
中単元(曲名)	花		
主領域/領域/内容の区分	B 生命・地球		
関連する道徳の内容項目	D生命の尊さ/自然愛護		

【到達目標】

知・技	<ul style="list-style-type: none"> ○ 植物の種類によって、茎の伸び方、花の色、葉の形や大きさなどが違っていることがわかる。 ○ 育てている植物への水やりなど、継続して世話ができる。 ○ 育ててきた植物が成長し、葉が増え、茎が伸びて、花が咲いているようすを記録することができる。
思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ○ 植物の成長のようすを観察して、気づいたことをわかりやすく発表できる。 ○ 育てている植物を観察して、前に観察したときと比べて違っていることを見だし、説明することができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 育てている植物の成長に関心を持ち、花が咲いたことを喜び、粘り強く世話をしようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 植物の草丈や花の色、葉の形などは、植物によって違っていることを理解している。	B(1)ア(ウ)
	○ 植物の草丈や葉の数、花の色などを正確に記録している。	B(1)ア(ウ)
	○ 育てている植物への水やりなど、適切に植物の世話をしている。	B(1)ア(ウ)
	○ 植物の成長のようすをわかりやすく記録カードに記入している。	B(1)ア(ウ)
思・判・表	○ 植物を観察し、その姿や花を比較し、その違いについて表現している。	B(1)イ
	○ 植物の成長のようすや花を観察して、気づいたことを発表している。	B(1)イ
	○ 育てている植物の成長のようすについて調べ、前に観察したときと比べて違っていることを見だし、図や言葉でわかりやすくまとめている。	B(1)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 育てている植物の成長のようすに関心をもって、積極的に観察しようとしている。	
	○ 草丈の高いヒマワリなどは、棒を使うなどくふうして高さをはかろうとしている。	
	○ 植物に関心をもって、大切にしようとしている。	

【関連する既習内容】

学年	年	内容
3		身の回りの生物(身の回りの生物と環境)

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
花	2	<ul style="list-style-type: none"> ○植物の育ち方を比べながら調べる。 ◆ かんさつ 	共通性・多様性/比較、関係付け

理科 第3学年 評価規準

	教科	学年	教科書	<small>上</small> 教科書ページ	配当時数	配当月
理科		3	大日本	60 ~ 73	4	9 ~ 9

大単元(題材名)	6. 動物のすみか		
中単元(曲名)			
主領域/領域/内容の区分	B 生命・地球		
関連する道徳の内容項目	D 生命の尊さ/自然愛護		

【到達目標】

知・技	<input type="radio"/> 昆虫は、食べ物がある場所や隠れやすい場所などに多くいることがわかる。 <input type="radio"/> 昆虫を見つけた場所やそのようすなどについて、正確に記録することができる。 <input type="radio"/> 昆虫の体のつくりの特徴がわかる。 <input type="radio"/> チョウとバッタやトンボの育ち方の差異点と共通点がわかる。
思・判・表	<input type="radio"/> 昆虫のいる場所やようすを観察して、気づいたことをわかりやすく発表できる。 <input type="radio"/> 昆虫がいる場所とその昆虫の食べ物や生活との関係について考えることができる。 <input type="radio"/> 昆虫の体のつくりを観察して、気づいたことをわかりやすく発表できる。 <input type="radio"/> チョウとバッタやトンボの育ち方を比べ、その差異点と共通点を導き出すことができる。
主体的に学習に取り組む態度	<input type="radio"/> 昆虫のすんでいる場所や育ち方に関心を持ち、粘り強く調べようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	<input type="radio"/> 昆虫は、食べ物があったり隠れることができたりする場所にいることが多いことを理解している。	B(1)ア(ア)(イ)
	<input type="radio"/> 昆虫のいる場所と活動のようすについて観察した結果を、記録カードなどに的確に記入している。	B(1)ア(ア)(イ)
	<input type="radio"/> 昆虫の体のつくりについて理解している。	B(1)ア(ア)(イ)
	<input type="radio"/> チョウとバッタやトンボの育ち方の差異点と共通点を理解している。	B(1)ア(ア)(イ)
	<input type="radio"/> 昆虫は、周りの環境と関わり合って生きていることを理解している。	B(1)ア(ア)(イ)
思・判・表	<input type="radio"/> 昆虫のいる場所と活動のようすとの関係について考察し、わかりやすく説明している。	B(1)イ
	<input type="radio"/> 食べ物や活動のようすなどから、見つけた昆虫がなぜそこにいたかを考え、まとめている。	B(1)イ
	<input type="radio"/> チョウとバッタやトンボの育ち方を比べ、その差異点と共通点を言葉でわかりやすくまとめている。	B(1)イ
主体的に学習に取り組む態度	<input type="radio"/> 昆虫のいる場所と活動のようすとの関係について関心を持ち、積極的に観察をしようとしている。	
	<input type="radio"/> 昆虫に関心をもって、大切にしようとしている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
3	年	身の回りの生物(身の回りの生物と環境との関わり, 昆虫の成長と体のつくり)

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
動物のすみか	1	○校庭で動物を探して、動物がいる場所について気付いたことを話し合う。 ★ 問題を見つけよう	共通性・多様性/比較、関係付け
	2	○いろいろな動物がいた場所の様子を比べながら調べる。 ◆ かんさつ	共通性・多様性/比較、関係付け
	1	◎「たしかめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	共通性・多様性/比較、関係付け

理科 第3学年 評価規準

	教科	学年	教科書	教科書ページ	配当時数	配当月
	理科	3	大日本	74 ~ 81	4	9 ~ 10

大単元(題材名)	植物の育ち方④		
中単元(曲名)			
主領域/領域/内容の区分	B 生命・地球		
関連する道徳の内容項目	C 勤労, 公共の精神	D 生命の尊さ/自然愛護	

【到達目標】

知・技	<ul style="list-style-type: none"> ○ 植物は、花が咲いた後に実ができることがわかる。 ○ 植物の種子をまいてから実がなるまでの、観察記録を整理することができる。
思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ○ 秋頃の植物のようすを観察して、気づいたことをわかりやすく発表できる。 ○ 育てている植物を観察して、前に観察したときと比べて違っていることを見だし、説明することができる。 ○ 植物の成長の記録を整理し、ほかの植物の記録と比較して差異点や共通点をまとめることができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4月から育ててきた植物のようすに関心を持ち、その育ち方を整理して粘り強くまとめようとする。 ○ 4月から育ててきた植物を最後まで愛情をもって世話をしようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 植物は花が咲いた後に実ができ、枯れていくことを理解している。	B(1)ア(ウ)
	○ 花が咲いた後の植物の変化や実のようすを正確に記録している。	B(1)ア(ウ)
	○ 育てている植物への水やりなど、適切に植物の世話をしている。	B(1)ア(ウ)
	○ 植物の成長のようすを、わかりやすく記録カードに記入している。	B(1)ア(ウ)
	○ 4月から記録してきたカードを、植物の育ち方にそって整理している。	B(1)ア(ウ)
思・判・表	○ 複数の植物を観察し、実や枯れた姿を比較し、差異点や共通点について表現している。	B(1)イ
	○ 植物のようすや実を観察して、気づいたことを発表している。	B(1)イ
	○ 育てている植物の秋頃のようすを調べ、前に観察したときと比べて違っていることを図や言葉でわかりやすくまとめている。	B(1)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 花が咲いた後の植物のようすに関心をもって、積極的に観察しようとしている。	
	○ 植物に関心をもって、大切にしようとしている。	

【関連する既習内容】

学年	年	内容
3	年	身の回りの生物(身の回りの生物と環境との関わり, 植物の成長と体のつくり)

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
花がさいた後	1	○植物の育ち方を比べながら調べる。 ◆ かんさつ	共通性・多様性/比較、関係付け
	2	○植物の育ち方の順序について、分かったことを発表する。	共通性・多様性/比較、関係付け
	1	◎「たしかめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	共通性・多様性/比較、関係付け

理科 第3学年 評価規準

	教科	学年	教科書	<small>上フ</small> 教科書ページ	配当時数	配当月
理科		3	大日本	82 ~ 99	9	10 ~ 11

大単元(題材名)	7. 地面のようすと太陽		
中単元(曲名)			
主領域/領域/内容の区分	B 生命・地球		
関連する道徳の内容項目	C 勤労, 公共の精神/伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度		

【到達目標】

知・技	<ul style="list-style-type: none"> ○ かげは日光を遮るとできること, かげの位置は太陽の位置の変化に伴って変わることがわかる。 ○ 太陽の位置が東の方から南の空を通して西の方へ変化することがわかる。 ○ 日なたの地面の温度が日陰の地面に比べて高くなるのは, 日光で地面があたためられるからだということがわかる。 ○ 方位磁針や温度計などを正しく扱うことができる。 ○ 方位磁針を使って東西南北の方位を調べ, 太陽の1日の位置の変化をとらえることができる。 ○ 日なたと日陰の地面の温度について, 正確に記録することができる。
思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日なたと日陰の地面の温度の違いを日光と関係づけて考察し, その考察した内容をわかりやすく表現することができる。 ○ 予想を確かめるための実験計画を立てることができる。 ○ かげの位置の変化を観察し, かげの位置の変化を太陽の位置の変化と関係づけてとらえることができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ○ かげと太陽の位置の変化について粘り強く追究する活動を通して, かげの位置の変化には太陽の位置の変化が関係していることを知り, まとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 人や物が日光を遮るとかげができること, かげは太陽の反対側に行けることを理解している。	B(2)ア(ア)(イ)
	○ 太陽は, 東の方からのぼって南の空を通して西の方へ沈むことを理解している。	B(2)ア(ア)(イ)
	○ かげの位置は太陽の位置の変化に伴って変わると理解している。	B(2)ア(ア)(イ)
	○ 方位磁針を使って太陽の位置を調べ, 正確に記録している。	B(2)ア(ア)(イ)
	○ 温度計などを使って, 日なたと日陰の地面の温度を正確に測っている。	B(2)ア(ア)(イ)
	○ 日光で地面があたためられ, 日なたの地面の温度が日陰の地面に比べて高くなることを理解している。	B(2)ア(ア)(イ)
思・判・表	○ かげつなぎやかげ踏みをして気づいたことから, 問題を見つけている。	B(2)イ
	○ 日なたと日陰の地面の温度の違いと日光との関係について, 日光の当たったプールサイドが熱かった経験などから予想を立てている。	B(2)イ
	○ 友だちの意見を聞いて, 自分の予想の妥当性について考えている。	B(2)イ
	○ 予想を確かめるための観察を計画している。	B(2)イ
	○ 太陽の位置とかげの位置との関係, 日光と地面のあたたかさとの関係について考察し, それを言葉でわかりやすく表現している。	B(2)イ
	○ 観察の結果から, かげの位置が変わるのは太陽の位置が変わるからであると考え, 自分の言葉で表現している。	B(2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ かげの位置の変化と太陽の位置の変化との関係を調べる観察計画について, 友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。	
	○ 日なたと日陰の地面の温度の違いと日光との関係について問題を見つけ, 自分なりの予想を立てて観察している。	
	○ 太陽と地面のようすの学習で, わかったこととまだわからないこと, できるようになったこととまだできないことが何かを, 自分で考えている。	

【関連する既習内容】

学年	年	内容
	年	
	年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
かげのでき方と太陽の位置	1	○影踏み遊びを行って、気付いたことを話し合う。 ★ 問題を見つけよう ○影の向きや太陽の位置を調べる。	時間的・空間的/比較・関係付け
	2	○影の位置を太陽の位置と比べながら調べる。	時間的・空間的/比較・関係付け
	2	○方位磁針の使い方を知る。 ○太陽の位置を、時刻と比べながら調べる。 ◆ かんさつ1	時間的・空間的/比較・関係付け
日なたと日かげの地面のようす	1	○日なたと日陰の様子で気付いたことを話し合う。 ★ 問題を見つけよう	時間的・空間的/比較・関係付け
	2	○放射温度計の使い方を知る。 ○棒温度計の使い方を知る。 ○日なたと日陰の地面を触って比べる。 ○時刻を変えて、日なたと日陰の地面の温度を比べながら調べる。 ◆ かんさつ2	時間的・空間的/比較・関係付け
	1	◎「たしかめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	時間的・空間的/比較・関係付け

理科 第3学年 評価規準

	教科	学年	教科書	上F 教科書ページ	配当時数	配当月
理科		3	大日本	100 ~ 111	7	11 ~ 11

大単元(題材名)	8. 太陽の光		
中単元(曲名)			
主領域/領域/内容の区分	A 物質・エネルギー		
関連する道徳の内容項目	C国際理解, 国際親善		

【到達目標】

知・技	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日光はまっすぐに進み, 集めたり反射させたりできることがわかる。 ○ 物に日光を当てると, 物は明るく, あたかくなることがわかる。 ○ 日光を集めたところは, より明るく, よりあたたかくなることがわかる。 ○ 複数の鏡で日光を集めたときの明るさやあたたかさの変化について, 正確に記録することができる。 ○ 虫眼鏡で日光を集めたときの明るさやあたたかさの変化を, 比較して調べることができる。
思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日光の進み方について, 生活のなかで経験したことなどから予想を立てることができる。 ○ 予想を確かめるための実験計画を立てることができる。 ○ 鏡に反射した日光がつくる道筋を, 日光の進み方と関係づけて考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 光の性質について粘り強く追究する活動を通して, 日光をたくさん集めると物はより明るくあたたかくなることを知り, まとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

	対応する学習指導要領の項目	
知・技	○ 日光はまっすぐに進み, 日光が当たったところは, 明るくあたたかくなることを理解している。	A(3)ア(ア)(イ)
	○ 日光は集めたり, 鏡で反射させたりできることを理解している。	A(3)ア(ア)(イ)
	○ 日光を集めたときのあたたかさを調べ, 正確に記録している。	A(3)ア(ア)(イ)
	○ 鏡や虫眼鏡を適切に扱い, 安全に実験を行っている。	A(3)ア(ア)(イ)
	○ 鏡で反射した日光を集めたり, 虫眼鏡で日光を集めたりしたとき, より明るく, よりあたたかくなることを理解している。	A(3)ア(ア)(イ)
思・判・表	○ 日光と明るさやあたたかさとの関係について考察し, その関係を自分の言葉で表現している。	A(3)イ
	○ 日光の進み方について問題をつくり, 的当て遊びをしたときや木漏れ日を見た経験などから予想を立てている。	A(3)イ
	○ 日光と明るさやあたたかさとの関係を表に整理し, 鏡の枚数と明るさやあたたかさの変化との関係を考えている。	A(3)イ
	○ 立てた予想を発表したり, 文章にまとめたりしている。	A(3)イ
	○ 友だちの意見を聞いて, 自分の予想の妥当性について考えている。	A(3)イ
	○ 予想を確かめるための実験を計画している。	A(3)イ
	○ 鏡の枚数を変える実験結果から, 日光を集めるとより明るく, よりあたたかくなることを導き出している。	A(3)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 日光の進み方を調べる実験計画について, 友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。	
	○ 日光と明るさやあたたかさとの関係について問題を見つけ, 自分なりの予想を立てて実験している。	
	○ 光の性質の学習で, わかったこととまだわからないこと, できるようになったこととまだできないことが何かを, 自分で考えている。	

【関連する既習内容】

学年	内容

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
かがみではね返した日光	2	○鏡で太陽の光（日光）をはね返して的に当てて、気付いたことを話し合う。 ★ 問題を見つけよう ○鏡ではね返した日光について調べる。	量的・関係的/比較/関係付け
	2	○鏡ではね返した日光について調べたときに気付いたことを話し合う。 ○鏡の数を変えたときの的の明るさや温度を比べながら調べる。 ◆ じっけん	量的・関係的/比較/関係付け
	1	○深めよう「虫眼鏡で日光を集めてみよう！」を行う。	量的・関係的/比較/関係付け
	2	◎「たしかめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	量的・関係的/比較/関係付け

理科 第3学年 評価規準

	教科	学年	教科書	上F 教科書ページ	配当時数	配当月
	理科	3	大日本	112 ~ 123	9	11 ~ 12

大単元(題材名)	9. 電気の通り道		
中単元(曲名)			
主領域/領域/内容の区分	A 物質・エネルギー		
関連する道徳の内容項目	D自然愛護		

【到達目標】

知・技	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電気の通り道が1つの輪のようになっているときに電気が通ることがわかる。 ○ 金属は電気を通すことがわかる。 ○ 電気の回路を正しく作ることができる。 ○ 電気を通す物と通さない物を調べる実験を、安全に行うことができる。 ○ 電気を通す物と通さない物があることを、回路を使った実験を通して調べ、正確に分類することができる。
思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電気を通す物と通さない物について、生活のなかで経験したことなどから予想を立てることができる。 ○ 豆電球に明かりがつくときとつかないときを比較して、それらの違いが電気の通り道に関係していると考えることができる。 ○ 豆電球に明かりがつくかどうかということと回路を関係づけてとらえ、その関係を表を使ってわかりやすくまとめることができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電気の通り道について粘り強く追究する活動を通して、金属は電気を通すことを知り、まとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

	対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 回路についてわかり、金属が電気を通すことを理解している。 A(5)ア(ア)(イ)
	○ 豆電球と乾電池、導線を正しくつないでいる。 A(5)ア(ア)(イ)
	○ 乾電池や豆電球、ソケットなどを正しく扱い、安全に実験を行っている。 A(5)ア(ア)(イ)
	○ 豆電球に明かりのつく回路を調べ、その回路を図でわかりやすく記録している。 A(5)ア(ア)(イ)
思・判・表	○ 身の回りで使われている電気について、問題を見つけている。 A(5)イ
	○ 電気を通す物と通さない物について、これまでに学習したことや生活経験などから予想を立てている。 A(5)イ
	○ 立てた予想を発表したり、文章にまとめたりしている。 A(5)イ
	○ 友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。 A(5)イ
	○ 豆電球に明かりがつくかどうかということと回路を関係づけて考え、それを言葉でわかりやすく表現している。 A(5)イ
	○ 電気を通す物の共通点や電気を通す物と通さない物の差異点に気づき、電気を通す物についてまとめている。 A(5)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ どのような物が電気を通すのかということに関心をもって調べ、見いだしたことを生活に生かそうとしている。
	○ 電気を通す物と通さない物を調べる実験で、積極的に調べたり、結果を粘り強く分類・整理している。
	○ 電気の通り道の学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。

【関連する既習内容】

学年	内容
年	
年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
電気の通り道	4	<ul style="list-style-type: none"> ○夜と昼のイルミネーションの様子を見て、気付いたことを話し合う。 ★ 問題を見つけよう ○豆電球に明かりをつける。 ○豆電球に明かりをつけるときに気付いたことを話し合う。 	量的・関係的/比較/関係付け
	2	<ul style="list-style-type: none"> ○電気を通す物と通さない物を、比べながら調べる。 ◆ じっけん 	量的・関係的/比較/関係付け
	1	○深めよう「遠くにある豆電球に明かりをつけてみよう!」を行う。	量的・関係的/比較/関係付け
	1	○作ってみよう「豆電球を使ったおもちゃを作ってみよう!」を行う。	量的・関係的/比較/関係付け
	1	◎「たしかめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	量的・関係的/比較/関係付け

理科 第3学年 評価規準

	教科	学年	教科書	<small>上F</small> 教科書ページ	配当時数	配当月
理科		3	大日本	124 ~ 137	8	1 ~ 2

大単元(題材名)	10. じしゃくのふしぎ		
中単元(曲名)			
主領域/領域/内容の区分	A 物質・エネルギー		
関連する道徳の内容項目	A 希望と勇気, 努力と強い意志	C 家族愛, 家庭生活の充実/国際理解, 国際親善	

【到達目標】

知・技	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鉄は磁石に引きつけられることがわかる。 ○ 磁石と鉄との間が離れていても、磁石は鉄を引きつけることがわかる。 ○ 磁石に極があることと、磁石の極性がわかる。 ○ 鉄は磁石に近づけると磁石のはたらきをもつようになることがわかる。 ○ 鉄くぎや方位磁針などを適切に扱い、磁石に近づけた鉄が磁石になるのかどうかを調べる実験を安全に行うことができる。 ○ 磁石の鉄を引きつける力は、磁石と鉄の距離が関係していることがわかる。
思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ○ 磁石に引きつけられる物と引きつけられない物について、生活のなかで経験したことなどから、予想を立てることができる。 ○ 磁石に引きつけられる物と引きつけられない物を比較して、それらの違いを材質と関係づけて考えることができる。 ○ 間に紙などをはさんでも磁石が鉄を引きつけることから、磁石と鉄が離れていても鉄を引きつける力がはたらいていると考えることができる。 ○ 磁石の同極どうし、異極どうしを近づけたときのようすを、言葉でわかりやすくまとめることができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 磁石の性質について粘り強く追究する活動を通して、磁石の鉄を引きつける力には磁石と鉄との距離が関係していることを知り、まとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 磁石は鉄を引きつけることと、磁石にはN極とS極があることを理解している。	A(4)ア(ア)(イ)
	○ 磁石と鉄との間に磁石に引きつけられない紙などをはさんでも、磁石は鉄を引きつけることを理解している。	A(4)ア(ア)(イ)
	○ 磁石の異極どうしは引き合い、同極どうしは退け合うことを理解している。	A(4)ア(ア)(イ)
	○ 実験の結果をわかりやすく記録している。	A(4)ア(ア)(イ)
	○ 磁石の極性を調べ、その結果を正確に記録している。	A(4)ア(ア)(イ)
	○ 棒磁石や方位磁針を正しく扱い、安全に実験を行っている。	A(4)ア(ア)(イ)
思・判・表	○ 磁石に引きつけられる物の共通点や引きつけられない物との差異点について考察し、問題を解決している。	A(4)イ
	○ 磁石に引きつけられる物と引きつけられない物について、磁石を使ったときの経験などから予想を立てている。	A(4)イ
	○ 立てた予想を発表したり、文章にまとめたりしている。	A(4)イ
	○ 友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。	A(4)イ
	○ 磁石が鉄を引きつける力の変化を、磁石と鉄との距離に着目して考えている。	A(4)イ
	○ 磁石の極どうしを近づける実験で、同極どうしか異極どうしかを関係づけて考え、それを言葉でわかりやすく表現している。	A(4)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 磁石に引きつけられる物と引きつけられない物について問題を見つけ、自分なりの予想を立てて実験している。	
	○ 磁石の性質の学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
3	年	電気の通り道

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
じしゃくに引きつけられるもの	1	○磁石を身の回りの物に近付け、磁石の不思議について、気付いたことを話し合う。 ★ 問題を見つけよう	量的・関係的/比較/関係付け
	2	○磁石に引きつけられる物と引きつけられない物を、比べながら調べる。 ◆ じっけん1	量的・関係的/比較/関係付け
	3	○磁石から離れていても働く力について、気付いたことを話し合う。 ★ 問題を見つけよう ○磁石と鉄の距離を変えたときの、鉄を引き付ける力を比べながら調べる。 ◆ じっけん2	量的・関係的/比較/関係付け
	4	○磁石同士を近付けたときの様子について、気付いたことを話し合う。 ★ 問題を見つけよう ○磁石の極同士の組み合わせを変えて、近付けたときの様子を比べながら調べる。 ◆ じっけん3	量的・関係的/比較/関係付け
	5	○深めよう「じしゃくを糸につるしてみよう!」を行う。	量的・関係的/比較/関係付け
じしゃくと鉄	2	○磁石に引きつけられたクリップとクリップが繋がったまま落ちなかった様子について、気付いたことを話し合う。 ★ 問題を見つけよう ○磁石に近付けた鉄は、磁石になるのか磁石と比べながら調べる。 ◆ じっけん4	量的・関係的/比較/関係付け
	1	◎「たしかめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	量的・関係的/比較/関係付け

理科 第3学年 評価規準

	教科	学年	教科書	<small>上</small> 教科書ページ	配当時数	配当月
	理科	3	大日本	150 ~ 159	6	2 ~ 3

大単元(題材名)	11. ものの重さ		
中単元(曲名)			
主領域/領域/内容の区分	A 物質・エネルギー		
関連する道徳の内容項目	C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度		

【到達目標】

知・技	<ul style="list-style-type: none"> ○ 物は、形が変わっても重さが変わらないことがわかる。 ○ 物は、体積が同じでも種類が違えば重さが違うことがわかる。 ○ 物の形を変えたときの重さを、正確に記録することができる。 ○ 物の種類による重さの違いを調べる実験を、安全に行うことができる。
思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ○ 物の形を変えたときの重さについて、生活のなかで経験したことなどから予想を立てることができる。 ○ 予想を確かめるための実験計画を立てることができる。 ○ 物の種類と重さとの関係を調べる実験の結果をわかりやすくまとめることができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 物の重さについて粘り強く追究する活動を通して、物は形が変わっても重さは変わらないことを知り、まとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 物の形を変えても、物の重さは変わらないことを理解している。	A(1)ア(ア)(イ)
	○ 同体積でも、物の種類が違えば重さも変わることを理解している。	A(1)ア(ア)(イ)
	○ 実験の結果を、表に整理してわかりやすく記録している。	A(1)ア(ア)(イ)
	○ はかりを正しく扱い、物の重さを正確にはかっている。	A(1)ア(ア)(イ)
思・判・表	○ 物の形と重さとの関係や、物の種類と重さとの関係について考察し、その考察内容をわかりやすく表現している。	A(1)イ
	○ 物の形と重さとの関係について、体重計の上で姿勢を変えたときの経験などから予想を立てている。	A(1)イ
	○ 立てた予想を発表したり、文章にまとめたりしている。	A(1)イ
	○ 友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。	A(1)イ
	○ 予想を確かめるための実験を計画している。	A(1)イ
	○ 種類の違う同体積の物の重さを調べる実験結果から、体積が同じでも種類が違えば重さが違うことを導き出している。	A(1)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 物の形を変えたときの重さを調べる実験計画について、友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。	
	○ 物の種類とその重さとの関係について問題を見つけ、自分なりの予想を立てて実験している。	
	○ 物の重さの学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。	

【関連する既習内容】

学年	内容

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
もののしゅるいと重さ	2	○物を見たり、持ったりして、物の重さについて気付いたことを話し合う。 ★ 問題を見つけよう ○はかりの使い方を知る。 ○はかりを使って重さを調べる。	質的・実体的/比較・関係付け
	1	○種類が違う物の重さを比べながら調べる。 ◆ じっけん1	質的・実体的/比較・関係付け
ものの形と重さ	1	○物の重さについて気付いたことを話し合う。 ★ 問題を見つけよう ○形を変えたときの物の重さを比べながら調べる。 ◆ じっけん2	質的・実体的/比較・関係付け
	1	○深めよう「形をかえて重さをくらべてみよう！」を行う。	質的・実体的/比較・関係付け
	1	◎「たしかめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	質的・実体的/比較・関係付け